

理解度テストの解答・解説について

今回は、令和6年7月に実施したコンプライアンス・研究倫理教育研修会で皆様に受講いただいた、理解度テストの解答(p.2～)・解説(p.5～)を周知します。

研究費の不正が認められた場合、以下のような措置が講じられます。

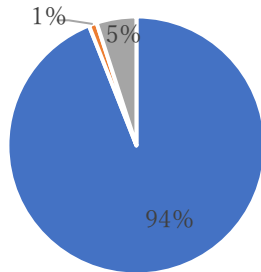
- 1 不正に使用された競争的研究費等の返還
- 2 申請および参加資格の制限

受講いただいた理解度テストは、どのような行為が不正に該当するか、不正が認められた場合に取りられる具体的な措置等について、理解を深める内容となっておりますので、今一度ご確認ください。

また、経費の執行手続きの際には契約事務マニュアルをご活用いただき引き続き適正な事務処理に努めていただきますようお願いいたします。

理解度テスト回答率

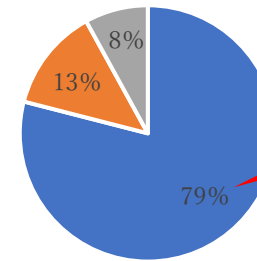
Q1. 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」が令和3年度に改正されたが、その際に挙げられた不正防止対策強化の3本柱とは、()・意識改革・不正防止システムの強化である。



回答.A

■ A.ガバナンス ■ B.現行基準の見直し ■ C.適正な環境整備

Q2. 研究代表者が科研費の適正な管理を怠り、他の研究者に当該研究費の管理を委ねた場合、研究代表者は善管注意義務違反となって、()措置を受ける場合がある。

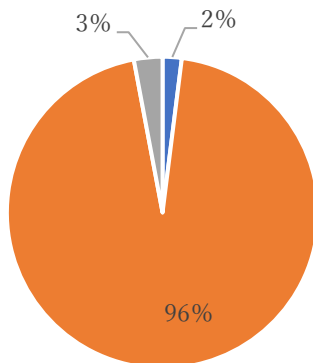


正答率90%未満

回答.A

■ A.1~2年間の交付制限 ■ B.3~5年間の応募制限 ■ C.3~5年間の交付制限

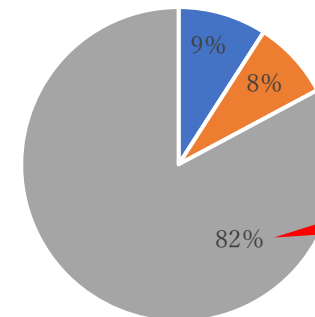
Q3. 自身の研究計画を他者名義で申請し、科研費を受給することは()と言う。



回答.B

■ A.不正使用 ■ B.不正受給 ■ C.特定不正行為

Q4. 趣味で使う道具の購入に、競争的研究費から1万円支出した場合の交付制限期間は()年間となる。

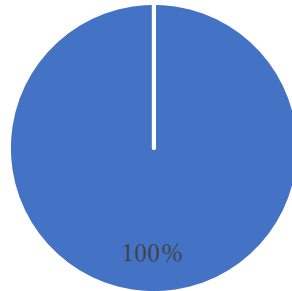


正答率90%未満

回答.C

■ A.1 ■ B.5 ■ C.10

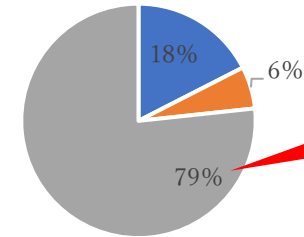
Q5. 研究と関わりの無い人に、競争的研究費で購入した装置を貸し出すと、()となる。



回答. A

- A. 目的外使用
- B. 回収困難
- C. 預け金

Q6. 特定不正行為 (FFP) とは、故意または、研究者としてわきまえるべき基本的な () 投稿論文など、発表された研究成果の中に示されたデータや調査結果等の捏造・改ざん及び盗用である。

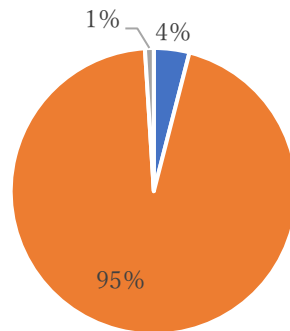


正答率90%未満

回答. C

- A. 倫理観を欠いた
- B. 法令順守を逸脱した
- C. 注意義務を著しく怠ったことによる

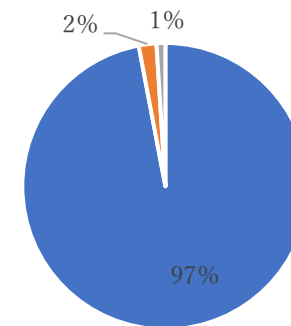
Q7. 複数回の実験データのうち、異常値と思われるデータを全て削除し、結果の傾向を分かりやすくして分析を行う事を () と言う。



回答. B

- A. 捏造
- B. 改ざん
- C. 外れ値

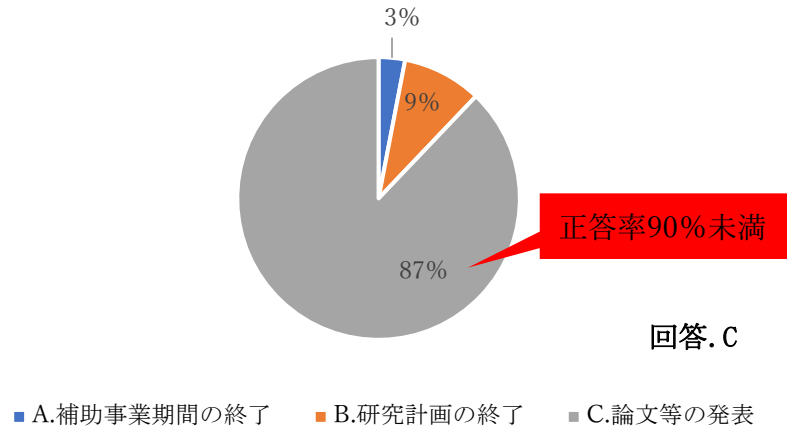
Q8. 疑わしい研究行為の例としては、二重投稿、サラム出版、利益相反の非開示の他にも () などが挙げられる。



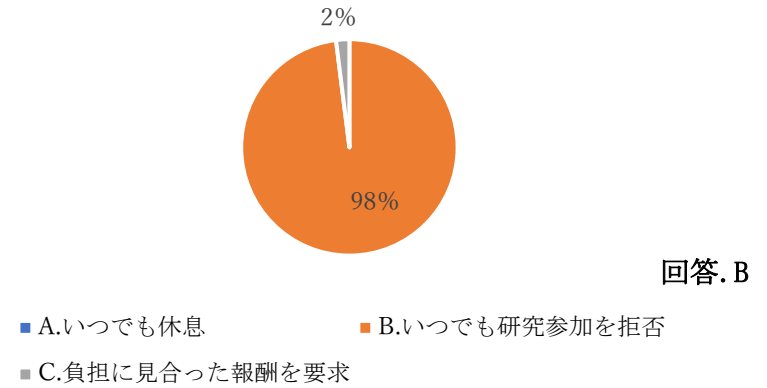
回答. A

- A. 不適切なオーサーシップ
- B. 改ざん
- C. 捏造

Q9. 研究者としてわきまえるべき基本的な注意義務の一つとして、研究データを適切に保存することが挙げられる。保存期間は原則として、() からデータは 10 年間、有体物は 5 年間となる。



Q10. ヘルシンキ宣言において、調査対象者は、目的、方法、その他研究に関するすべての側面について、十分に説明されなければならないとされており、また () する権利のあることを知らされなければならないと規定されている。



2024 年度 研究倫理・コンプライアンス研修 理解度確認テスト 解答・解説(英文併記)

FY2024 Research Ethics and Compliance Course Comprehension Test

- ◆ 以下の設問について、選択肢の中から最も妥当と思われるものを選び、アルファベットでご回答ください。
※ 赤字は解答および解説です。
- ◆ Please select the most appropriate option to fill in the blank indicated with “(),” and write the corresponding alphabet in the answer column.
※ Letters in red are the answers and explanations.

設問 Questions	選択肢 Options	回答 Answers
<p>Q1. 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」が令和3年度に改正されたが、その際に挙げられた不正防止対策強化の3本柱とは、()・意識改革・不正防止システムの強化である。</p> <p>本ガイドラインの令和3年度の改正では、研究機関全体の意識改革を図り、研究費不正の防止に関する高い意識を持った組織風土を形成するために、ガバナンスの強化・意識改革・不正防止システムの強化の3項目を3本柱として掲げています。</p> <p>Academic Institutions' Guidelines, etc. for Management and Audit of Public Research Funds were revised in the fiscal year 2021 and the three pillars of strengthening measures to prevent misconducts were identified as (), awareness raising, and strengthening the prevention system.</p> <p>In the revision of this guideline in 2021, three pillars have been established, namely strengthening governance, awareness raising, and enhancing the prevention system. The aim is to achieve a comprehensive mindset change within research institutions, fostering organizational culture with a high awareness of preventing research grant fraud.</p>	<p>A. ガバナンス governance</p> <p>B. 現行基準の見直し revising the existing standards</p> <p>C. 適正な環境整備 establishing a proper environment</p>	A
<p>Q2. 研究代表者が科研費の適正な管理を怠り、他の研究者に当該研究費の管理を委ねた場合、研究代表者は善管注意義務違反となって、()措置を受ける場合がある。</p> <p>研究者は自身が望む望まないにかかわらず、自身の受給する科研費の管理を、他人に任せるなどして怠ると、善管注意義務違反に判定され、1～2年間の交付制限措置を受ける場合があります。</p> <p>If a principal investigator neglects proper management of KAKENHI project and delegates the management of funds to other researchers, the principal investigator may be in violation of the duty of due care and may face ().</p> <p>Regardless of their desire, if researchers neglect the management of their KAKENHI research funds by delegating it to others, they may be judged to have breached the duty of care, award debarment for a period of 1 to 2 years.</p>	<p>A. 1～2年間の交付制限 award debarment for a period of 1 to 2 years.</p> <p>B. 3～5年間の応募制限 application restriction for a period of 3 to 5 years.</p> <p>C. 3～5年間の交付制限 award debarment for a period of 3 to 5 years.</p>	A
<p>Q3. 自身の研究計画を他者名義で申請し、科研費を受給することは()と言う。</p> <p>事実と異なる内容を記載して、競争的研究費の申請を行ない受給した場合には、不正受給となる。</p> <p>Applying for KAKENHI with one's research plan using a name of another person and receiving the research fund is called ().</p> <p>Stating false information and receiving competitive research funds would be considered fraudulent acquisition.</p>	<p>A. 不正使用 improper grant spending</p> <p>B. 不正受給 fraudulent grant acquisition</p> <p>C. 特定不正行為 FFP (Specific Research Misconducts)</p>	B
<p>Q4. 趣味で使う道具の購入に、競争的研究費から 1 万円支出した場合の交付制限期間は()年間となる。</p> <p>金額によらず、私的流用を行なうと 10 年間の交付制限を受ける。</p> <p>In a case where 10,000 yen is spent from competitive research funds to purchase tools used for hobbies, the period of award debarment will be () years.</p> <p>Regardless of the amount, diversion for personal use results in an award debarment for 10 years.</p>	<p>A: 1</p> <p>B: 5</p> <p>C: 10</p>	C
<p>Q5. 研究と関わりの無い人に、競争的研究費で購入した装置を貸し出すと、()となる。</p> <p>競争的研究費で購入した機器等を研究以外の目的で使用すると、目的外使用となります。</p> <p>If you loan equipment purchased with competitive research funds to someone who is not involved in your research, it is considered ().</p> <p>Use of equipment purchased with competitive research funds for any purpose other than research is considered to be an unauthorized use.</p>	<p>A. 目的外使用 unauthorized use</p> <p>B. 回収困難 unrecoverable</p> <p>C. 預け金 money deposit</p>	A

<p>Q6. 特定不正行為 (FFP) とは、故意または、研究者としてわきまえるべき基本的な() 投稿論文など、発表された研究成果の中に示されたデータや調査結果等の捏造・改ざん及び盗用である。 「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」において定義されている通り、「注意義務を著しく怠ったことによる」が正しい。 FFP (Specific Research Misconducts) are Fabrication, Falsification, Plagiarism of a data and research results shown in published research, based on the intent of the researcher, or (). As defined in the Guidelines on Responding to Misconduct in Research Activities, the correct answer is “the failure to fulfill the basic duty of care.”</p>	<p>A. 倫理観を欠いた the lack of research ethics B. 法令順守を逸脱した the violation of laws C. 注意義務を著しく怠ったことによる the failure to fulfill the basic duty of care</p>	<p>C</p>
<p>Q7. 複数回の実験データのうち、異常値と思われるデータを全て削除し、結果の傾向を分かりやすくして分析を行う事を()と言う。 改ざんは「研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること。」とされており、取得したデータの一部を削除する事も改ざんにあたる。 Deleting all data considered to be outliers of the data obtained from multiple experiments to make the tendency of the results easier to understand is called (). Falsification is defined as “the act of altering research results obtained through research activities into a fictitious one,” and deleting a portion of acquired data also constitutes falsification.</p>	<p>A. 捏造 fabrication B. 改ざん falsification C. 外れ値 outlie</p>	<p>B</p>
<p>Q8. 疑わしい研究行為の例としては、二重投稿、サلامي出版、利益相反の非開示の他にも()などが挙げられる。 不適切なオーサーシップには、ギフトオーサーシップやゴーストオーサーシップという問題があり、いずれも研究倫理上の問題があると認識されています。 As examples of questionable research practices, in addition to dual submission, salami slicing, and non-disclosure of conflicts of interest, () can also be raised. Inappropriate authorship includes issues such as gift authorship and ghost authorship, both of which are recognized as problematics in terms of research ethics.</p>	<p>A. 不適切なオーサーシップ inappropriate authorship B. 改ざん falsification C. 捏造 fabrication</p>	<p>A</p>
<p>Q9. 研究者としてわきまえるべき基本的な注意義務の一つとして、研究データを適切に保存することが挙げられる。保存期間は原則として、()からデータは 10 年間、有体物は 5 年間となる。 保存期間は、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」の要求に応じて、日本学術会議の回答文「科学研究における健全性の向上について」等を元に、各大学が定めることになっています。 Among the basic duties of care as a researcher is properly preserving research data. In principle, the required preservation period is 10 years for data and 5 years for tangible entities after the (). The preservation period is determined by each university in accordance with the requirements of the 'Guidelines for Dealing with Misconduct in Research Activities,' and also based on the Japan Academy's document 'Enhancing Integrity in Scientific Research' and other guidelines.'</p>	<p>A. 補助事業期間の終了 conclusion of the funding period B. 研究計画の終了 completion of the research project C. 論文等の発表 publication</p>	<p>C</p>
<p>Q10. ヘルシンキ宣言において、調査対象者は、目的、方法、その他研究に関するすべての側面について、十分に説明されなければならないとされており、また()する権利のあることを知らされなければならないと規定されている。 ヘルシンキ宣言は、主に医学研究を対象とした研究倫理の原則を定めており、まず「研究目的の重要性が調査対象者のリスクおよび負担を上まわる場合に限り行うことができる」としている。研究に伴うリスクが完全に排除できないという事から、調査対象者はいつでも研究参加を拒否することができるようにしなければならない。 In the Helsinki Declaration, it is stipulated that research subjects must be fully informed about the purpose, methods, and all other aspects of the research, and they must also be informed of their right to (). The Helsinki Declaration establishes principles of research ethics primarily for medical research, stating that research may only be conducted if the importance of the research purpose outweighs the risks and burdens to the research subjects. Recognizing that risks associated with research cannot be completely eliminated, research subjects must be given the right to refuse participation at any time.</p>	<p>A. いつでも休息 take rests any time B. いつでも研究参加を拒否 refuse participation in the study at any time C. 負担に見合った報酬を要求 demand compensation commensurate with the burden</p>	<p>B</p>

最後に

研究費不正根絶のために、文部科学省のガイドライン改正等が行われるとともに、本学でも不正を起こさない、起こさせない組織風土づくりに取り組んでいます。

昨年9月末に、本学の管理体制状況等を把握するために、文部科学省の職員が来学した際、今後の取り組み等について意見をもらい、それに基づき本学の不正防止に向けた取り組みを強化しているところです。

<参考>

本学 HP の、不正防止に関するページです。

文部科学省が発表している、最新の不正使用事案等も紹介していますので、下記 URL よりご確認ください。

<研究活動上の不正行為への対応>

<https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-162/page-314/>

<研究費の不正使用防止に関する取組>

<https://www.oka-pu.ac.jp/research/page-31045/page-1707/>

<研究活動上の不正行為防止等に関する取組>

<https://www.oka-pu.ac.jp/research/page-31045/page-1690/>